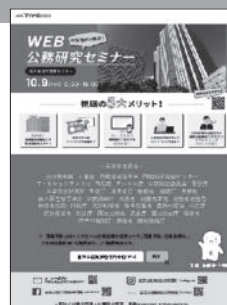


WEB公務研究セミナーの実施について

人事院は、大学生等を対象に公務に関する職業観を育成する啓発活動として毎年実施している公務研究セミナーを、昨年度に引き続きオンラインで実施しました。昨年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、対面型のイベントが実施できない中で開催でしたが、今年度はWEB型のメリットに着目し、対面型のイベントに先駆けての実施となりました。



人材局企画課人材確保対策室

はじめに

民間企業等の採用活動早期化や若年層のキャリア意識の変化、長時間労働を始めたとする勤務環境への関心の高まりを背景に、公務における有為な人材の獲得競争は非常に厳しくなっています。こうした状況を打開し試験申込者を増やしていくためには、公務志望者の裾野を拡大することが重要です。

こうした課題認識を踏まえ、人事院では、様々なオンラインイベントやSNS等による情報発信を通じ、公務を志望する人材の掘り起こしのための取組を強化しています。昨年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により大人数を集めての対面型イベントの開催が難しくなったことを契機に初めてオンラインによるセミナーを開催したところですが、今年度は、対面型のイベントに先駆けて本セミナーを開催することによって、まず全国の学生等に向けて公務への幅広い興味・関心を喚起し、その後の対面型イベントへの参加意欲が高まることをねらったより戦略的な活動を展開することとしました。

目的

公務研究セミナーは、国家公務員としての仕事のやりがいや各府省の業務概要、直面する政策課題（現在の取組、今後の展望等）の説明、職場の紹介等を通じて、参加者の公務に対する理解を深めてもらい、公務を就職先の選択肢としてもらうことを目的としています。

今年度は、各府省と連携し、大学生等を対象とした啓発活動として、一〇月～二月に全国七地区において対面型でも実施することとしています。

実施状況

オンラインで実施するに当たっては、今回も、①これまでの広報でアプローチができなかった民間企業専願者への訴求、②大規模配信の安定的実施、③質の高い・充実したコンテンツを提供すること等の観点から、大規模オンラインイベントのノウハウを豊富に有する就活支援会社と連携することとしました。

令和三年八月上旬から、人事院HPの国家公務員試験採用情報NAVI及びオンラインイベントの運営を委託することとなつ

TIME	スタッフ1	スタッフ2	スタッフ3	スタッフ4	スタッフ5	TIME	スタッフ6
(中 略)							
14:55	(事)	②財務省本省 (事・技)	③国府庁 (技)	④特研庁 (事)	⑤防衛省・ 防衛装備庁 (技)	14:55	業務紹介
15:00						15:00	特別企画②
15:05						15:05	デンタル11
15:10						15:10	
15:15						15:15	
15:20						15:20	
15:25						15:25	業務紹介
(中 略)							
16:35	(事・技)	⑥防衛省 (事)	⑦消防庁 (技)	⑧経務省 (事)	⑨厚生労働省 (技)	16:35	業務紹介
16:40						16:40	特別企画③
16:45						16:45	どうする？何する？
16:50						16:50	試験勉強
16:55						16:55	
17:00						17:00	
17:05						17:05	業務紹介
17:10						17:10	業務紹介
17:15	⑩出入国在留 管理庁 (事)	⑪国府庁 (事)	⑫文部科学省 (技)	⑬外務省 (事・技)	⑭IT・セキュリ ティ人材 (事・技)	17:15	業務紹介
17:20						17:20	業務紹介
17:25						17:25	業務紹介
17:30						17:30	業務紹介
17:35						17:35	国家公務員×マイナビ
17:40						17:40	特別対談
17:45						17:45	何が違う？何が同じ？
17:50						17:50	国家公務員と民間企業

タイムテーブル

た株式会社マイナビのサイトで順次告知を行ったほか、九月一〇日には、今年度初めて実施するWEB国家公務員セミナーと併せて報道発表を行い、幅広い周知に努めました。また、ツイッターやインスタグラム等による情報発信も積極的に行い、一人でも多くの若年層に情報が届くようにしました。

実施日の一〇月九日(土)には、三三府省等が四五枠(各三〇分)に分かれて参加し、五スタジオから生配信を行いました。また、前回同様、別スタジオにインフォメーションチャンネルを設定し、オンエア直前の府省の紹介をすることで各業務説明への視聴者の参加を促すとともに、前回も実施した若手職員等による座談会や試験ガイダンスなどに加え、「デジタル」をテーマとしたクロストーク、国家公務員と民間企業の仕事の相違や共通点に着目したクロストークなどの特別企画を開催し、参加者の心に響くことをねらって構成を工夫しました。

配信中はチャット及び質問機能により、双方向のやりとりを可能とするとともに、参加者からの要望が多かったアーカイブ動画については、各府省業務説明に加え、インフォメーションチャンネルの特別企画についても原則公開することとしました。今回のWEB公務研究セミナー参加者数は、次のとおりです。(カッコ内は前回)

事前予約数 四、九八八(五、五一六)
 総ログイン数 二七、二三七(三七、八九九)
 (予約なしでも当日参加可)



参加者の状況、意見・感想

インフォメーションチャンネルで実施したアンケートに対し、六〇七名からの回答がありました。概要は次のとおりです。

① 居住地

東京都（一四・〇％）を始め全国的に広く視聴されました。

② 学年

大学三年生が七〇・五％と前回の六一・〇％から更に上昇しましたが、大学一年生・二年生も一〇・二％で前回の六％を上回りました。

③ 国家公務員を指そうと思った時期

大学一・二年生が三四・三％、大学三年生が三三・八％であり、前回調査時と同様の傾向がみられました。

④ 国家公務員試験や各府省の業務内容等に関する情報の入手先（複数回答可）

人事院HP（五九・一％）、各府省HP（四八・八％）とHPから得ているという回答が多く得られたほか、大学等掲示板のポスター、チラシ（二九・八％）がそれに続きました。また、人事院が昨年二月に開始した試験・採用情報ツイッターも二六・〇％と若年層への訴求に大きく貢献していました。

⑤ 得られた情報、知りたい情報（複数回

答可）

本セミナーで得られた情報としては、仕事の内容（政策等）（八八・八％）、求めている人材（四〇・〇％）、キャリアパス（三八・二％）の順でした。また、これから知りたい情報としては、求めている人材（四七・九％）、職場の雰囲気（四七・四％）、仕事の内容（四五・三％）の順でした。

⑥ 本セミナーの満足度

満足（六二・八％）と概ね満足（三六・四％）を合わせると九九％超となりました。

⑦ 今後のイベントの実施形式についての希望（図参照）

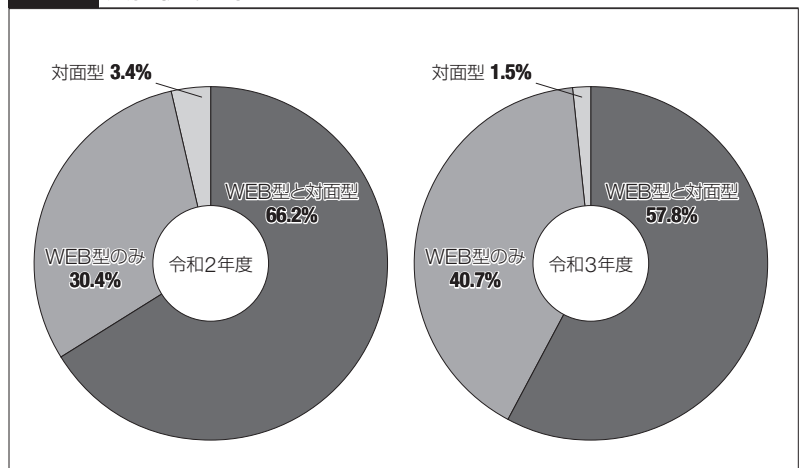
WEB型と対面型どちらも希望（五七・八％）、WEB型のみでよい（四〇・七％）、対面型がよい（一・五％）でした。WEB型を希望する割合は合わせて九八・五％と前回を上回る高い割合となりました。

⑧ WEB型イベントのメリット・デメリット（複数回答可）

メリット 移動に要する費用・時間などの負担軽減（九三・六％）、場所や服装を意識せず参加（七五・〇％）、チャットを利用して気軽に質問（六一・六％）

デメリット 説明者や組織の雰囲気をつかみづらい（五八・五％）、参加者同士の交流ができない（三八・九％）

④ 実施形式の希望



⑨ 意見・感想

- ・ 様々な省庁の話を一日で聞くことができてよかった
- ・ 移動時間がなく効率的
- ・ 気軽に参加できた
- ・ インフォメーションチャンネルが良かった

- ・チャット・質問機能がよかった
- ・同時間で重なっていたため視聴できない府省があった
- ・試験勉強のモチベーションが上がった
- ・選択肢が広がった、視野が広がった
- ・自分の考え方や行動を見つめ直す機会、自分の将来を考え直す機会となった

各府省担当者からの意見・感想

- ・参加者数が非常に多く周知効果があった
- ・持ち時間が短く質問に十分に対応できなかった
- ・今回のような合同オンラインセミナーの継続を希望
- ・対面イベントの実施も希望

終わりに

今回、全国で実施する対面型の公務研究セミナーに先駆けてWEB型のセミナーを開催し、多くの方に国家公務員の仕事に興味・関心を持ってもらうことをねらいましたが、参加者アンケートにおいて「とても興味深く貴重な話を聞くことができた。もっと各府省の雰囲気を知りたいので、次

回は対面で参加したい」というコメントがあり、手応えを感じることができました。インフォメーションチャンネルの特別企画については、「モチベーションが上がった、自分を見つめ直すきっかけとなった」とする声も寄せられ、インフォメーションチャンネルの役割と効果を改めて実感することができました。

また、前回のWEB公務研究セミナーの参加者から、本イベントが発信した様々な情報を参考にしながら受験し、無事合格・内定することができたとする声が今回寄せられており、主催者としても大きな励みとなったところです。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から始めたWEB公務研究セミナーですが、どこからでも気軽に参加ができ、多くの府省の話を一度に聞けることから、対面型に比べより多くの公務志望者の掘り起こしが可能となっています。今回の参加者アンケートでは、WEB型を希望する回答が前回を更に上回り高い割合となるなど、WEB型のイベントに学生がかなり馴染んできていることがうかがわれました。他方、職場の雰囲気を直に感じる事がWEB型では難しく、約六割の参加者が対面型の開催を希望していたこと、各府省



の質疑応答に十分な時間を確保することがWEB型の合同セミナーにおいては仕様上難しいことなども踏まえ、対面型のセミナーについても、感染防止対策を徹底の上今後も実施していきたいと考えています。



各府省業務説明スタジオ